

とう けい ちょう さ いん 統計調査員さんのお仕事

ぎょうりよく ～統計調査に協力しよう



右の写真の人は、何をしているのでしょうか。

この人は、スーパーマーケットで商品の値段ねだんを調べる仕事をしている「統計調査員」さんです。

統計調査員さんが、毎月こうして商品の値段を調査することで、地域ちいきの物の値段ねだんのうつり変わりがわかります。物の値段のうつり変わりがわかると、わたしたちの生活くの暮らしやすさがわかります。こうして集めた調査けっかの結果は、年金さいていちんぎんや最低賃金こうきょうりょうきん、公共料金などを決める時の大切な資料となります。

このほかにも、様々な統計調査で、統計調査員さんが活やくしています。

例えば、「国勢調査」は、日本に住んでいる全ての人の性別せいべつや年齢ねんれい、職業しよくぎょうなどを調べるという、とても重要じゅうようで大きな調査ですが、ここでも統計調査員さんが活やくします。統計調査員さんは受け持った地域の全ての家庭げんかんさきの玄関先を回って、調査票の書き方や提出方法を説明しながら調査票を配り、留守るすの家庭には、時間を変えて何度も訪問ほうもんします。

統計調査員の仕事は、根気のいる大変な仕事ですが、現在の社会の姿を正しく知るために行う統計調査には、欠かすことのできない、とても大切な仕事なのです。

みなさんの家庭に、統計調査員さんが訪ねて来たら、積極的に協力してくれるよう、家族の方に伝えましょう。



写真提供：中日新聞社
(平成29年3月17日朝刊)

37年間、統計調査員のお仕事を続けているNさんの言葉

調査のために各家庭を訪問すると、調査票を出してもらえず、厳しい言葉を受けることが何度もありました。

それでもあきらめず、くり返し説明するうちに、

「調査票は書いてあるよ」

と、やっと調査票を出してもらえることがあります。

そんな時は、喜びでいっぱいになります。

町でたくさんの人に声をかけてもらえることが、自分自身の財産ざいさんなので、体力が続く限りこの仕事を続けていきたいです。

